

### 合唱祭



9月25日(日)  
13:00~16:30  
市民会館大ホール



\*問合せ先\*  
0436・23・6579  
立石陽子

市原市合唱連盟では、指導者が亡くなったたり、団員の高齢化による退会など加盟団体が減少していますが、そんな現状にも負けず頑張って参加して下さる皆様と第55回合唱祭を開催いたします。今回は7加盟団体に4つの団体が一般参加していただけています。また特別ゲストとしてオペラ等でご活躍されている先生方のミニコンサートも予定しております。コロナ感染の急増が心配されますが、感染予防対策を十分に行なううえで開催致します。コロナ禍でも一生懸命練習を重ねてきた合唱団の演奏をお楽しみ下さい。皆様お誘い合わせの上ご来場いただきますようお願い申し上げます。尚、ご来場のさいには感染予防対策にご協力頂きますようお願い申し上げます。



9月25日(日)  
12:30~17:00  
市民会館小ホール

### 三曲大会

\*問合せ先\*  
〒290・00011  
市原市能満1898・44  
0436・74・1474  
齋藤崇風

三曲とは箏、賞三絃、尺八の合奏を主体とした演奏会です。邦楽は愛好者以外の方々には敷居が高いと敬遠されがちですが、江戸時代の古典から明治以降の新曲、そして現代曲、民謡曲の編曲を演奏させていただきます。三曲会のメンバーは、我が国の長い歴史の中で育まれてきた。邦楽をより一層身近な文化として継承し、発展させるべく活動しております。文化祭では皆様に日本古来の邦楽の音色に接していただき、邦楽の魅力を感じていただきたいと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



### 吟詠剣詩舞大会

10月23日(日)10:00~16:00  
市民会館小ホール

\*連絡先\*  
市原市北国分台4・16・15  
090・5801・6273  
半沢正憲

市原市吟詠剣詩舞連盟は名前の通り、詩吟、剣舞、詩舞を行っている組織であり、年に一度行われる文化祭において練習成果を披露しております。現在10会派が大会に参加しております。世界的に蔓延しているコロナウィルスのため平成元年と2年の2年間は実施できませんでした。そのため200名を超えていた会員も現在は150名と減少してしまいました。これは他の文化サークルにも共通する悩みではないでしょうか。今年に入ってからまた感染者が増え、開催に向けての準備を進めておりますが、開催に向けての準備は進めております。会に属さない個人・団体の方でも出演できますので、是非申し込み下さい。希望される方は下記まで連絡ください。お待ちしております。(入場無料)

市原市工芸会は色々なジャンルのアート作品を制作・展示を行い時には販売も行っている方々の集まりです。工芸会の最も代表的な活動は市原市文化祭の一環として開催する「市原市工芸展」です。これは「広報いちほら」でも作品募集のお知らせを添えている通り誰でも出品参加することが出来ます。毎年、染色・刺繍・パッチワーク・洋裁・木工・革工芸・ガラス工芸・和傘など色とりどりのアート作品が出品されています。また「アートクラフト市原」では各方面の方々のご協力を得て、全国各地から来られたクラフト作家が、テントを張り手作りの作品を体験、販売して来場された方々との交流を深めています。千葉・こども国キッズダムで子供たちへ「物作り体験」を行い、各所で「ワークショップ」を開いて、アート作品作りの輪を広げる活動もしています。さらに、市の主催行事にも協力して、「いちほらアートミックス」に積極的に参加しています。

10月8日(土)~9日(日) 9:30~17:00  
サンプラザ市原11階

### 工芸展



\*申込先\*  
〒29000011  
市原市能満  
20800192  
080・6559・0780  
升川雅美

市原市工芸会は色々なジャンルのアート作品を制作・展示を行い時には販売も行っている方々の集まりです。工芸会の最も代表的な活動は市原市文化祭の一環として開催する「市原市工芸展」です。これは「広報いちほら」でも作品募集のお知らせを添えている通り誰でも出品参加することが出来ます。毎年、染色・刺繍・パッチワーク・洋裁・木工・革工芸・ガラス工芸・和傘など色とりどりのアート作品が出品されています。また「アートクラフト市原」では各方面の方々のご協力を得て、全国各地から来られたクラフト作家が、テントを張り手作りの作品を体験、販売して来場された方々との交流を深めています。千葉・こども国キッズダムで子供たちへ「物作り体験」を行い、各所で「ワークショップ」を開いて、アート作品作りの輪を広げる活動もしています。さらに、市の主催行事にも協力して、「いちほらアートミックス」に積極的に参加しています。

### 朗読音楽劇発表会

毎月第2水曜日 午後2時~4時  
サンプラザ市原1階 iスペース

わたしたち朗読音楽劇サークル「アネモネ」は、いちほら朗読音楽劇協会に所属する「朗読×音楽×劇」をミックスした舞台を「想像を創造する」をモットーに音楽家本間権代子指導の下、創り上げてゆくサークルです。市原の民話や短編、宮沢賢治・アルチュールランボーはじめ詩や文章を用いたトンチンチャイムという楽器や歌・他楽器で音楽を自由に付けながらイメージを立体的にしてゆきます。文化祭では役柄になりきったメンバーの舞台をお披露目できたらと練習に励んでおります。

12月11日(日)  
開演14:00~  
サンプラザ市原1F  
iスペース



11月26日(土)  
10:00~17:00  
市民会館小ホール

### 民謡秋祭り

\*出場申し込み\*  
はがきに住所、氏名、電話番号、曲名および伴奏の有無を記入して9月30日までに申し込みください。(参加費1000円)

秋の気配が漂い始めるなか、市原市文化祭の「民謡秋祭り」を開催いたします。赤とんぼが舞い、市原市の花こすもすが咲きみだれる小湊鉄道の線路の両脇に「小さな秋」、「懐かしい秋」を見つめる今日この頃です。神社の境内では、笛太鼓が祭りの練習を始め、ドキドキ、ワクワクと心が弾みます。め、嫁取り、七五三の宮参りなど暮らしのひとコマを綴り合わせて舞台に乗せましょう。民謡と踊りで市原の秋をたたえましょう。

\*問合せ先\*  
〒29000011  
市原市能満1898・44  
0436・74・1474  
齋藤崇風



10月23日(日)  
13:00~17:00  
市民会館会議棟  
2階会議室

### 短歌大会

\*問合せ先\*  
〒29000011  
市原市国分寺台中央6・11・5  
04366・22・1322  
逸見悦子

歌人会は平成2年に結成され、以来、一貫した活動を続けております。定期総会、歌会、秋の短歌大会、年刊合同歌集の刊行、「短歌通信」の発行(年三回)、親睦を深めるための文学散歩、昨年より更級日記千年紀文学賞の小・中学校の短歌部門の選歌を担当、他に文化芸術ワークショップ、短歌教室ワークショップ、会員も増えています。今年の短歌大会は対面にて平山公二氏「潮音」を招いて講演会を開催いたします。演題は「短歌の基本と推敲」。作品募集一般二首一組2000円。何組でも可。未発表作品。締切八月三十一日(水)小・中・高校生は無料。市長・議長、教育長・実行委員、歌人会会長賞、他あり。



11月13日(日) 13:00~16:30  
市民会館小ホール

### 謡曲大会

「能」は古く室町時代の初期に観阿弥・世阿弥たちによって確立され、今日まで伝承されてきた日本の代表的な古典文化芸能で、語り舞・囃子の三要素から構成されていきます。能の題材が多く、詞章は七五調の綺麗な文章を正し、日本語で語ります。又、日本各地の由緒ある題材を主題にしていきますので、歴史や旅行が好きなお勧めの古典芸能です。市原市には、観世・喜多流の二流派の同好会があり、夫々が先輩諸氏からの活動を継承し、日々研鑽しながら楽しい集いを重ねております。地域の活動として毎年市内の小学校において伝統芸能の普及活動を行っており、また、毎年秋の市原市文化祭において、語り、仕舞、囃子の日頃の研鑽結果を皆様にご披露致しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。(入場無料)

「能」は古く室町時代の初期に観阿弥・世阿弥たちによって確立され、今日まで伝承されてきた日本の代表的な古典文化芸能で、語り舞・囃子の三要素から構成されていきます。能の題材が多く、詞章は七五調の綺麗な文章を正し、日本語で語ります。又、日本各地の由緒ある題材を主題にしていきますので、歴史や旅行が好きなお勧めの古典芸能です。市原市には、観世・喜多流の二流派の同好会があり、夫々が先輩諸氏からの活動を継承し、日々研鑽しながら楽しい集いを重ねております。地域の活動として毎年市内の小学校において伝統芸能の普及活動を行っており、また、毎年秋の市原市文化祭において、語り、仕舞、囃子の日頃の研鑽結果を皆様にご披露致しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。(入場無料)